

## 会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通会議
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	平成28年3月29日(火) 午前10時～11時半
開催場所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室
出席者	[委員(敬称略)]鈴木文彦、橋岡和子、田村恵子、池内隆司、坂本敬、平野武、田崎達久、岡村淳、原口一郎、伊藤裕二、藤崎幸郎(代理出席) 信山重広、影山真季雄、石川雄司(代理出席)、二瓶国利(代理出席)、大柳隆、日野靖久、東山博文 [市事務局]畑野伸二(都市整備部交通対策課長)、府川真之(都市整備部交通対策課交通対策係長)、野島希(都市整備部交通対策課交通対策係主事) [出席者]藤田秀実(都市整備部区画整理課区画整理係主事)
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 東小金井駅北口駅前交通広場について</p> <p>(2) 小金井市第二庁舎前の路線バス事故について(報告)</p> <p>(3) CoCoバス・ミニ野川七軒家循環の増便について(報告)</p> <p>(4) CoCoバス車内広告について</p> <p>(5) その他</p> <p>〔資料〕</p> <p>東小金井駅北口駅前交通広場計画図</p> <p>東小金井駅北口のまちづくり</p> <p>(1) CoCoバス・ミニ野川七軒家循環の増便における経過</p> <p>(2) CoCoバス民間広告について</p> <p>(3) (参考) 近隣自治体コミュニティバス広告収入アンケート調査結果</p> <p>(4) 小金井市地域公共交通会議設置要綱</p> <p>(5) 小金井市地域公共交通会議委員名簿</p> <p>C o C o バスリーフレット</p>

発言内容・発言者名（主な発言要旨）

## 会長

議題(1)「東小金井駅北口駅前交通広場について」を事務局から説明をお願いします

## 藤田主事

それでは、ご説明させていただきます。まず、資料、計画図面をご覧ください。計画図黒枠線が区画整理事業施行箇所となります。駅前交通広場から南北方向、東小金井駅北口線は幅員20mに拡幅整備をする予定で、東小金井駅北口東西線は幅員16mに拡幅する予定としています。また、駅前交通広場につきましては現在は暫定の形としていまして、平成28年度に全体的な整備が完了する予定です。ロータリー内の上屋根等につきましては平成30年度以降設置する予定であります。

次に駅前交通広場につきましては、バス停留所を3箇所整備する予定で、バス待機所を1箇所、その他タクシー乗り場1箇所、タクシープールを計8台分、設置する予定です。バスの長さは10.5mの車両を想定して、ロータリー内の車道の幅員については概ね8mから10mを確保しています。一般車両についてはロータリー内を乗り入れ出来るように警察と調整しています。

今後、バスの乗り入れについて参画を希望される事業所におかれましては、市区画整理課までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

## 会長

以上、説明終わりましたが、ご意見等ございますでしょうか。

## 坂本委員

計画を伺いましたが、タクシー乗り場までの進入車両の動線はどのようになっているのでしょうか。というのは、現在一般車両がかなり乗り入れている状態で一般車との動線をきちんとしないと路線バスやココバスが入れない状況であるので、実態を踏まえて調整していただきたい。

## 藤田主事

わかりました。

## 会長

他にはいかがですか。

## 信山委員

武蔵小金井駅南口でも問題になっていますが、タクシーの降車についてどこで降ろすか、明確にされているのでしょうか。

**信山委員**

これは乗車であって、タクシーが乗せる場所であるので、降ろすところはいかがでしょうか。場所が重なると逆に乗り降りで危なくなる場合も多く、さらに雨天の際はかなりの不便になります。少し空きスペースがあると、一般車輛が入ってきたり、そうするとバスのスペースをお借りしたりと、ご迷惑をかけてしまうので、その点も考慮していただきたいです。

**藤田主事**

わかりました。

**会長**

3箇所、バス乗降車場とありますが、この3箇所で乗り降りを想定されているということですね。

**藤田主事**

はい、現状でもそのような実態となっています。

**坂本委員**

現在、路線バスは1路線のみですよね。それであれば、乗降車場が同じであってもよいかと思いますが、今後、他路線が参画した場合のことも想定した方がよいかと思えます。この路線は遠く別の路線は乗り場、降り場共に駅近となると、不公平差が生じる。

**会長**

これから乗るという状況であれば、それぞれの行き先に応じてということで心理的負担はあまりないが、降りて駅に向かう状況であれば、ロータリー北側というのは不便さを感じるので、検討していただきたい。

**藤田主事**

わかりました。調整していきます。

**会長**

これまでのとおり、利用される方の動線を考えること、一般車との住み分けをつける。これは限られたスペースの中でうまく考慮しなければ、ロータリーの機能を失くなるので、十分に検討していただきたい。

続いて、議題(2)「小金井市第二庁舎前の路線バス事故について」こちらは、京王さんからご報告お願いいたします。

**田崎委員**

京王バスの田崎です。本日は会議の中で貴重なお時間をいただきまして、当社グループが引き起こした事故についてご報告

させていただきます。まずは、近隣の方々をはじめとする市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

今回の事故は小金井市内を運行します当社グループ京王バス小金井株式会社の車輛が2016年1月7日午後3時45分、中央線北側にあります小金井営業所から回送で武蔵小金井駅南口に向かい走行中、小金井消防署を過ぎた付近で乗務員が意識喪失の状態になりました。その結果、当該バスは歩道に乗り上げ、フェンス、信号機、ガードレール等に接触後、進行方向左側の市駐輪場を抜けて隣接しているアパートに接触、停止いたしました。幸い、アパートの住人の方、付近の通行人の方々には怪我等はなく、乗務員は事故後救急搬送されましたが、目だった外傷等もなく搬送先で意識を取り戻しています。現在、乗務はしておりませんが、勤務には復帰している状況です。当該乗務員は49歳男性で乗務員暦は23年5ヶ月でした。当日の運行前の点呼では健康状況をはじめ、異常はございませんでした。また、年2回の健康診断においても異常の検診はなく、意識障害の既往症もございませんでした。今回の事故を受けまして、緊急的に全乗務員に対し、健康に関する個人面談を実施し、また脳ドッグの対象範囲を広げる等、健康管理の徹底に取り組んでおりますが、今後医療機関の検査結果、警察ならびに事業用自動車事故調査委員会による事故究明の調査結果に基づき、今回の事故を解析し、再発防止に取り組んでまいります。この度はご迷惑をおかけしまして、誠に申し訳ございませんでした。以上です。

### **会長**

ありがとうございました。今後、健康等についてチェックを重ねて、日々の健康管理については強化をしていただきたいと思います。続いて議題(3)「CoCoバス・ミニ野川七軒家循環の増便について」事務局からお願いいたします。

### **事務局**

それでは議題(3)「CoCoバス・ミニ野川七軒家循環の増便について」ご説明いたします。平成20年の運行開始以降、ココバスミニに乗り切れないという事象が多く発生し、乗り残しに対して解消して欲しいとの要望を多方面から頂いておりました。その解決策としてこちらの会議では数年前からココバスミニ野川七軒家循環の乗り残しについて、委員の皆様にご審議をいただいているところです。解決策の中では車輛の購入等も案として上がっていましたが、市の財政上、車輛の購入も厳しい状況である中、一部時間におけるルート短縮や、停留所を通過しての運行等の実車を行いました。効果的な方策は導かれず、数年が経過しているところでした。

前回の会議でもご報告いたしました。乗務員の月報による

乗り残し人数のカウントを集計してみますと、朝の時間帯において特に多くの乗り残しを発生させているということがわかり、また、集計の結果、最も多く乗り残し人数を出しているのが9番の中前橋というので、中前橋とその前の前原二丁目で昨年度、事務局職員で停留所で待っている方に対してアンケート調査も行いました。市の財政状況や、利用者の状況を鑑みるとこれまでご審議いただいた方法である、朝の1便の増便という方向性を固め、前回の報告どおり、増便に係る経費は50万円ほどで解消にかかる経費としてはさほど大きな負担ではないと市としても考えています。

前回の10月28日の審議以降の経過としましては、国土交通省関東運輸局東京運輸支局へ一般乗合旅客自動車運送事業の運行計画変更届出書という運行時間に係る変更届を先日提出いたしました。また、3月からは市のHP、市報、停留所及び車内にも案内を掲出しており、市の市民課で配付しています、わたしの便利帳にも折込として案内を入れ、周知を図っておりますので、当初案どおり、4月1日今週金曜から運行開始していきたいと考えています。  
以上です。

#### **会長**

ありがとうございました。これにつきまして何かご意見等ございますでしょうか。

#### **田村委員**

朝の時間帯は病院に行かれる方が多いと思いますので、運行が早くなってよかったです。

#### **橋岡委員**

一便ということで、どれほど解消されるのか心配です。

#### **事務局**

そこにつきましては運行してみないと、何とも言いがたいところです。ご指摘いただいたとおり、病院に行かれる方が多く、その方たちのご利用により、更なる乗り残しということも懸念はしております、事前の周知の中には分散乗車も促しております。

#### **会長**

これが分散に繋がるのか、新たな乗り残しになるのか何とも言えませんが、利便性を上げたのは事実ですので、この点はPR出来るかと思えます。また、このような利用状況であると知らせることで利用者が考えて乗車してくれるかもしれないですね。実態は正直に報告した方がよいかと思えます。よろしくお願いいたします。続きまして、議題(4)「CoCoバス車内広告につ

いて」事務局から説明をお願いします。

### 事務局

はい、議題(4)「CoCo バス車内広告について」ご説明いたします。現在、ココバス車内では野川七軒家循環を除く4ルートにおいて庁内部署から依頼された講演会や人材募集、啓発活動に係るポスターを掲示しております。市の保有している庁内枠は26年度ベースでも約94%の利用率であったので、需要はかなり高いという状況となっています。昨年10月に従来使用していた車輛のリエッセからポンチョという車輛に全車輛入れ替えを行い、新たな掲示枠が増加された車内形態となりました。それに併せて、以前から要望の多くあった民間広告について、検討をしてみたいと議題として扱わせていただきました。

まず、参考資料として、昨年10月に近隣自治体へ向けて広告についてのアンケートを行いましたので、ご報告いたします。アンケートを行ったのは武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、国分寺市、小平市、西東京市の7市に対して行い、調査内容は広告媒体について、広告の利用は行政だけか民間企業も利用しているのか、また収入については運行収入として、歳出抑制にあてているのか、市の歳入として取り扱っているのか、最後に広告を掲載するにあたり、委託をしているのかという質問をしています。集計結果としましては、三鷹市以外は昨年10月1日現在では広告を行っていますが、武蔵野市は昨年10月末で広告を終了しています。広告内容としましては車内ポスターが広告を行っていない三鷹市以外の全ての市で行っており、アナウンス放送もほとんどの自治体において行っています。その他の中に回数券や車内チラシなどがありました。また広告の収入については、どの自治体も歳出抑制として、運行収入の中で精算しているということでした。アンケートについての調査結果は以上です。

それでは資料2にお戻りください。ココバスでは以前より、庁内部署の依頼にのみ車内ポスターを掲示していましたが、昨年、車体を全て新車輛に入れ替えたため、増枠されたポスター掲示枠を利用し、以前からご要望のあった民間広告にあて、新たな収入を得てココバス事業の運行補助金の歳出抑制につなげたいと考えております。

まず、1車内の広告の取り扱いとして扱いたいのは車内ポスターとアナウンス放送を考えております。資料2-1にあるように、掲載位置は写真のとおりで、民間ポスター掲載位置は左下の側吊部分がありますので、こちらの5箇所を利用します。現行庁内から依頼のきたポスターは側吊部分に掲載していますが、これは側吊部分の上にある窓上掲載枠に変更と考えております。また、加えて運転席後部にある通称H棒といわれている掲載枠も取り扱いたいと考えております。また、アナウンス放送は車内で流す放送で、いわゆる民間の路線バスにも一般的に

流れているものと同様のものとお考えください。

次に2の実施主体についてですが、現在、ココバスの運行実施主体は京王バス中央で行っているのですが、広告についても京王グループの広告部門である株式会社京王エージェンシーに委託していきたいと考えています。京王エージェンシーではバスの車内広告以外にも電鉄部門においても広告を取り扱っており、新宿駅や吉祥寺駅中の柱や電車の中吊りなどの広告も担当されています。運用上においても広告の貼り付け作業は終バス後営業所において行いますし、アナウンスにおいても吹き込み作業等あり、過去の実績においてもこれまでの顧客との関係性も構築されているかと思っておりますので、広告掲載の受付や審査に関しては受け持っていたいただきたいと思いますと考えております。小金井市と同様に京王バスに委託する国分寺市、府中市におかれましても、同様に運用されているので、円滑に進めやすいかと考えます

続いて3広告料金については同じく資料2-1のとおりで、掲載箇所、放送箇所により金額を設定しています。こちらの金額はすべて税別です。販売単価としましては1ヶ月単位で側吊枠が4,000円、運転席後部が3,000円となっており、ココバスの車両は全ルート予備車も含めて7台となりますので、アナウンス放送についてはどこの停留所を何ランクにするかは京王エージェンシーとの協議によって今後決定していきたいと考えておりますが、現在査定していた段階ではABCとランク分けをしており、主の市の中心部にいくに連れて金額も高くなるといった設定となります。

4収入については広告収入としては取り扱わずに、通常入ってくる運行収入と同等に扱い、補助金の補填としていききたいと考えております。

5広告の審査基準について資料2-2をご覧ください。小金井市では市の広告について市報や、HPのバナーに関して取扱要綱を制定してしまして、この要綱とココバス運行会社である京王バスの車内掲載基準に則り掲載に関して審査を行ってまいりたいと思っております。

6広告掲出までの流れですが、資料2-3をご覧ください、京王エージェンシー及び協力代理店が民間企業へ広告掲出の売込み、または申込以降、掲載の空き状況や内容の審査などを行い、ある程度の形を整えた段階で市へ報告をいただき、掲載という流れとなります。

7広告に係る問題点としては、広告を掲出すれば必ず起こりうることはあるかと思っておりますが、問題点というか、市民の方や多方面から広告内容及び業種等に対して問合せ等が寄せられると予想されます。

また、アナウンスにおいては道路、交通状況によってはアナウンスが途切れてしまったり停留所の距離の関係上、放送の文言の長さにより幅があったりと停留所毎の不公平差は生じてくるか

と思います。

8 その他としましては、今回ご提示いたしました資料に関してはあくまでも検討段階であり、今後こちらの会議でのご意見等を含めて調整し、内容をつめてまいりたいと思います。なお、導入時期としましては、まだ検討段階でありますので、未定とさせて頂いていますが、アンケート結果でもあるように近隣自治体でも広告収入は取り入れている自治体も多いのでなるべく早く導入したいと考えております。

#### **会長**

こちらの議題について、何かご質問等ございますか。

#### **石川委員（代理）**

広告の販売単価について、5箇所あって販売単価4,000円なので1台あたり20,000円ということですか。

#### **事務局**

車内5箇所掲載枠がございまして、そのうち1枠が単価4,000円で車輛がココバス7台分で計28,000円分となります。1台分で申し上げますと1ヶ月単価でそのような形となります。

#### **池内委員**

すべての車輛に掲載するという認識ですね。

#### **事務局**

そのようになります。

#### **平野委員**

車内アナウンスについてですが、市内中心部に近いほど高くなるとはどういうことでしょうか。あと、1分何円とか、30秒ではとか時間単位の販売はないのですか。

#### **事務局**

協議をしている委託企業においては、駅などのお客様の利用が多い停留所の方が単価が高く設定していますので、時間での設定はないということです。

#### **池内委員**

というと、概念的には「～医院はこちらで降りてください。」というような内容ということですか。

#### **事務局**

そのような内容が多いかと思います。



**池内委員**

では、駅前の病院であったり、商店の方が必然的に高くなるということですね。

**平野委員**

では、秒数としてはそれほど長くはないですね。30秒程度とか。

**事務局**

ココバスの停留所は短い間隔で配置されているので、あまり長い文言は流せないかと思います。

**池内委員**

ずっとたらたら流されてもうるさいとか文句言われそうですよね。降りる時にということですね。

**会長**

コミュニティバスは200～300m間隔の停留所なので、そういう程度の長さが多いです。

**平野委員**

質問ですが、参考資料のラッピングとはどのようなことですか。

**事務局**

車外ラッピングです。車体をラッピングするということです。

**平野委員**

他の、自治体さんでは料金箱の横にチラシを吊るしていたりしましたが、それはどこに入りますか。

**事務局**

その他のところですか。

**平野委員**

それは小金井市ではやらないということですか。

**事務局**

今のところその予定です。内容については、他市でもポピュラーに行っているものからと考えていまして、今後運用については調整してまいりたいと思います。

**池内委員**

バス停はやりですか。

**事務局**

全くないとは言いきれませんが、時刻やルートをすでに掲示していますので、現行スペース上厳しいかと思えます。

**平野委員**

やはり広告料金の収入というのは要となるかと思えます。赤字路線が多い中、少しでも赤字幅を狭めるという意味で収入の補填としては積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

また、広告の業種規制がいろいろと謳われていますが、医療法に規定する事項以外は表示できないとありますが、こういった意味ですか。

**池内委員**

病院は広告してはならないという意味合いですね。

**平野委員**

そういったことがあるのですね。

**池内委員**

内容としては「紹介」は可能であるが、「宣伝」はできないといった意味合いです。

**平野委員**

個人的に思ったのは需要が高い企業としては進学塾と医療関係かなと思いました。

**会長**

確かに進学塾は需要がありそうですね。今後の流れはいかがですか。

**事務局**

現在、委託会社とも協議中でして、まだ審査基準等と精査し切れていない状況ですので、内容等詰めていきたいと思えます。次回以降より具体的なものをご提示して審議いただきたいと思っております。

**会長**

それでは、本日審議した内容踏まえて今後調整していただき、次回以降具体的な形で審議を進めていければと思います。他にはご意見等ございますか。

**坂本委員**

一点よろしいですか。昨年夏に小金井公園前に橋を架けていただきまして、大変ありがたいのですが、横断歩道がだいぶ西の方にしかなく、ガードレールの隙間を抜けて横断していく方をよく

見るのですが、小金井公園前なので、かなり利用というのはいくつかと思います。見ているととても危険で子連れの方とかも多く、こういう場がありますので、警察の方や市の管理する方で対策を講じていただきたいのですがいかがでしょうか。事故が起きてからでは遅いので、横断歩道、橋の位置が妥当なのか検証していただきたいです。

#### **東山委員**

あの場所に設置した経緯ですが、玉川上水は国の史跡ということで、なかなか橋を設置することが難しく、当初は横断歩道の位置に設置したかったのですが、国の許可も下りず、元の歩道橋があるところなら設置許可を出せるということでしたので、市でも数年かけて調整を行い、設置したという経緯でございます。

ご指摘のとおり、橋を渡り数メートル歩かないと横断歩道に行けないので、もう少し東側に設置したく、警視庁、都と調整、協議している段階でございます。

#### **平野委員**

関連することですが、あの通りはとても往来が激しく、せっかく新設されたのに事故があつてからでは遅いので別にも橋を設置するか、横断歩道の整備をするとか検討していただきたい。

#### **東山委員**

状況は把握しています。こちらの方も横断歩道の直近に建てたいという意向で、3、4年かけて協議を行いました。そういった経緯がありまして、やむを得ずあの位置となりました。現在も協議中ですので、その点は汲んでいただければと思います。

#### **会長**

先ほどの東小金井の話と同じで、人の動線が一番合理的に動けるようになっていまして、面倒な動きは取りたがらないですね。ですので、一般的な動線からあまり外れない箇所に設置するということが必要ですよ。そういった配慮をしていかないと使いにくいものになっていきます。

#### **池内委員**

広告に関するのですが、鹿児島市のコミュニティバスが結構遊び心があつてアイドルがコンサートする際にコンサート行きであったり、インターネットとか、テレビで話題になっていて面白いのですが、例えばココバスでもどこかと提携してイベントをするとか、キャンペーンするとかを考えてみてはいかがでしょうか。そういった話題性があれば、市民も喜ぶし、他市にも目立つし、小金井市をアピールできるかと思うのでぜひ、ご検討ください。

**会長**

そうですね、電光掲示板とかに何かコメント入れることとかもできますよね。ぜひ実現できるものはやっていきたいですね。他にはよろしいでしょうか。

**大柳委員**

私は以前の部署では運転免許本部という、行政処分であったり、ドライバーの病気による運転免許の色々な庶務手続きを行う業務を担当しておりました。ですので、先日のバス事故の件があったので、経験上お話させていただきたいのですが、意識喪失になる要因で多いのは低血糖の方、インシュリンを打っている方、少し量が多かった少なかったであったり、投与するタイミングがいつもと違ったりとかで意識喪失に繋がり、事故を引き起こすという事例が多くあります。こういった身近にインシュリン治療されている方いらっしゃいましたら、投与後すぐの運転にはご注意をして頂ければ、こういった事故のケースは多少防げるのかと思います。

**会長**

貴重なお話ありがとうございました。それでは本日の議題はすべて終了いたしました。本日はありがとうございました。